



河野としのり 県議作成の意見書(国への要望)が議会で決議される!!

河野としのり県議

県の環境研究センターは、「噴砂の集中する所は、氷河期に削られた溺れ谷に縄文時代からの堆積した沖積層のある所であり、その谷が深い程揺れが強く液状化被害も大きい、更に、埋立地層は砂層と泥層に分かれ、その境目から噴砂し地割れを起こす」と液状化の原理を地質構造から説明しています。

河野としのり県議 (再質問・要望)

あの関東大震災でも震災後六百本のボーリング調査をした

具体的回答を求め再質問を打つ河野としのり県議



河野としのり県議 液状化の原因となる 地質構造のより詳細な調査と対策を 県議会の全会一致の決議を得て 県と国に訴える!!

質問に対する知事の応答を
厳しい表情で聞き入る河野としのり県議

しかし、埋立地の住民が知りたい事は、地質の構造調査を基に、今自分の住んでいる土地がどのような地層の上に立っていて、これから起こる首都直下地震等により、どの震度で、どのような液状化が起こり、その対策は何かという事です。県は、もっと地質構造のデータを集め、地質と液状化の関係をより正確に掴み、地域の液状化対策を詳細に知らせるべきと思うが、どう考えているのか、

知事

地質構造と液状化の関係を把握し、液状化対策を促進するため、広大な埋立地の地質状況や地震動等のデータ量を増やし、液状化に関するデータの収集に努めてまいります。

東京湾臨海部の液状化対策に向けて地質調査の強化を求める意見書

3・11東日本大震災においては、震源から遠く離れた東京湾臨海部の震度は、震度5強となり液状化が発生した。そのうち、東京湾臨海部で液状化の確認された面積は、地盤工学会によれば、約42平方キロメートルに達し、世界最大の液状化発生となった。一方、今年に入り文部科学省の研究チームは「東京湾北部で起きる首都直下地震は従来の震度6強を超えて震度7になる」と公表した。こうした中、人口の密集する東京湾岸の多くの住民は、首都直下地震では、再液状化の不安、さらに今回の震度5強では大丈夫であったが、震度6、震度7では壊滅的な液状化被害をこうむるのではないかと、不安な日々を過ごしている。東京湾岸の埋立地は人工の地層が表面にあり、それはサンドポンプ工法の埋め立てにより砂層と泥層に分かれ、その下に氷河期に削られた谷に縄文時代から堆積した沖積層があり、複雑な地層構造になっている。よって表面の地震動も地質構造によって異なり、したがって液状化の被害も異なっていく。現状は、ボーリング等の調査が貧弱で、また地質に加え地下水位、粒度配合、地震動等のデータ量も十分ではなく、地質構造は解明されておらず、液状化地域と隣接する非液状化地域との違いさえもいまだに住民に対し説明できない状態である。環境省は数十年前より「東京湾臨海部の埋立地は、谷底での堆積物からできた沖積層を埋め立てたものであり、地震時に地盤が液状化し大きな被害を生じるおそれがある。地盤調査、地盤改良及び基礎工法などに万全を期す必要がある。」と指摘しているが、これまで十分な予算措置はなされていない。よって、政府においては、人口密集する東京湾の埋立地において、適切な液状化対策ができるよう、液状化試験、地震の応答解析を含めた詳細な地質調査の強化を都県、市町村に求め、かつその予算措置を行うことを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
内閣総理大臣、環境大臣、復興大臣、防災担当大臣

あて

河野としのり県議が作成し、県議会の決議を得て
県の意志として国への訴える事になった要望書

**美浜区中心に
液状化調査**

河野俊紀議
(員(民主)は、
東日本大震災
後、県が実施
した液状化ボー
リング調査
について尋ねた。
県内では千葉、習志野、
我孫子、浦安、香取の5市

で大きな液状化被害が発生した。吉田雅一防災危機管理部長は「5市で調査地点の地層を全て採取するオーロコボーリングを計20本実施し、そのうち10本を千葉市美浜区で行った」と説明。今後埋立地の地域特性を明らかにし、地質状況や地震動などのデータ収集を進めるとした。

「美浜区の更なる液状化調査を」という河野としのり県議の議会での訴えが新聞(千葉日報(H24年11月30日付))に掲載される。

と聞きます。今後の予測されている関東直下型地震における液状化被害の詳細予測と対策の分かるボーリング調査をもっとより多く行う事を強く要望します。



- 昭和48年 早稲田大学理工学部卒
- 50年 早稲田大学大学院修士課程修了
- 同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
- 平成7年 千葉県議会議員初当選
- 16年 千葉県監査委員
- 17年 防災対策委員
- 20年 党県連幹事長
- 23年 千葉県議会議員5期当選
- 現在 党県議会の議員会長

平成25年度予算要望を会派の代表として知事と折衝し、特に下記の事を強く要望する。

- ・再液状化対策の調査研究の推進と具体的対策を打ち出す事
- ・JR京葉線のダイヤ本数の増発、風対策等の利便性の向上
- ・医師、看護師の確保
- ・結婚環境支援策の推進
- ・雇用の拡大と新エネルギー事業の拡大
- ・水道管の耐震化を推進
- ・巨大地震を想定した防災教育の見直し
- ・塾帰り子どもたちを守るための防犯対策の推進
- ・スピーディ等の放射性物質拡散予測を踏まえた防災計画を定める事



平成25年度予算・制度の要望を
会派の代表として知事と折衝し要望する河野としのり県議

平成25年度予算・制度の要望書を
会派の代表として知事に手渡し河野としのり県議

河野としのり で 検索

議会で質疑応答は、インターネットで下記のアドレスを開けばビデオを見ることが出来ます。
http://www.chiba-pref.stream.jfit.co.jp/giin_result.php?GIINID=549